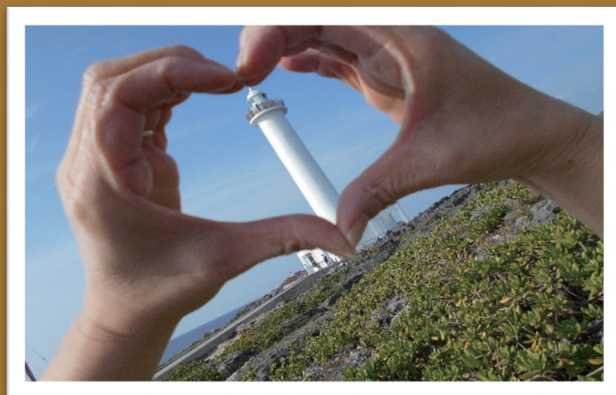




頂上からは断崖絶壁が見渡せます！



インスタ映えの残波岬灯台



沖縄県絶景夕日スポット12選

参観時間

9：30～16：30（通年）

3月～9月の土日等 17：30まで延長
（土日等：土、日、祝日、休日、GW、8/10～19日）

※悪天候時は灯台にのぼれない場合がございますのでご了承ください。

参観状況は下記のHPにてご確認ください。

参観寄付金

300円（中学生以上）

※小学生以下及び障がい者（介助の方1人まで）の方はいただきません

灯台へのアクセス

★路線バス（28番、29番）

那覇バスターミナル～読谷バスターミナル下車
（約1時間半）→タクシー約5分（徒歩約30分）

★自動車

那覇空港～国道331号、58号、県道6号経由
約1時間→徒歩約3分



★公益社団法人燈光会 残波岬支所

〒904-0328 沖縄県中頭郡読谷村
宇座岬原 1933

TEL/FAX 098-958-3041

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight14/>



ざんぱみさきとうだい

残波岬灯台

ZANPA MISAKI LIGHTHOUSE

眼下に広がるコバルトブルーの海

沖縄 1 高い灯台



のぼれる灯台 16 の 1 つ

灯台資料展示室

灯台の付属舎を利用して資料展示室が設置されています。残波岬灯台の模型やグラフィックによる灯台等の役割、仕組みなどを紹介しています。



灯台のレンズ、光り方についての
しくみや役割などをわかりやすく
紹介しています

灯台模型の展示

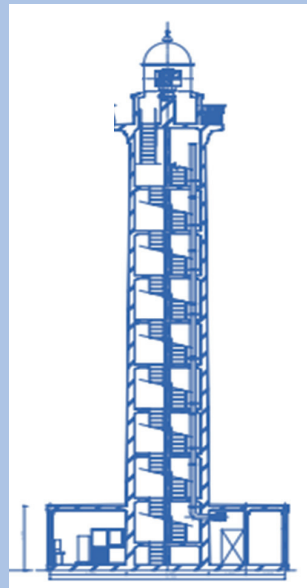


フォトコンテスト

入賞作品の展示
(5月頃～9月頃募集)



灯台の姿図



断面図

〔この灯台の概要〕

位 置	北緯 26度26分28秒 東経 127度42分49秒
塗色構造	白色 塔形(コンクリート造) (灯台の色と造りのことです)
灯 質	群せん白光 10秒に2回発光 (沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を10秒ごとに2回見ることができます)
光 度	640,000カンデラ (「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)
光達距離	18.0海里(約33キロメートルです。1海里は1,852メートルです)
明 弧	343度から296度まで (明弧とは光が見える範囲のことです)
高 さ	灯台の基礎部から灯台の頂部まで31メートル 地上から灯火まで28メートル 平均水面から灯火まで44メートル
初 点 灯	昭和49年3月30日

灯台の歴史

残波岬灯台は、当地が未だ米軍の実弾演習場として使われ、立入り禁止区域になっていた昭和 48 年に地元の海軍関係者からの強い要望により建設を開始しました。

突然の演習で工事をストップさせられたり、米軍のゲートに連絡が届いていなかった為に施設に入ってもらえなかったり、他では味わえない苦勞を重ねながら翌年の3月30日に何とか完成させることが出来たということです。

残波岬は沖縄本島のほぼ中央、東シナ海に大きく突き出した岬で、高さ30mから40mにも及ぶ隆起サンゴ礁の絶壁が2kmに渡って続く風光明媚な景勝地ですが、古来より本土から、そして山原 から那覇へ向かう船の航海の難所となっていたようです。

～残波岬灯台周辺～



日本一の巨大シーサー 残波岬公園(遊具)